

# 「豊かな心」を育くんで

## 「豊かかな心」を育くんで

### 姉妹図書館としての新たな歩みを 大倉精神文化研究所附属図書館、神埼市立図書館(佐賀県)

### 自らの人生観と世界観を培う

高井 大倉邦彦は当時の世相、心の問題の軽視を憂い私財を投じて富士見幼稚園(東京都目黒区)や、故郷の佐賀県西郷村(現神埼市)に農村工業学院を創設して、附属図書館を創設した。1932(昭和7)年には「大倉精神文化研究所」を創設、現在の大倉山記念館は研究所の本館として建てられた。同時に附属図書館をつくり、研究者はもろもろ、最初から市民にも公開していた。それが今も残っている。現代においても重要な役割を担っている。



心豊かな世界を目指して 密度の濃い関係を

#### 高井 祿郎理事長

たかい りくろう 1944年東京生まれ。中央大学法学部を卒業後、横浜市に奉職。横浜市中央図書館長、文化担当理事、横浜市立大学事務局長、中区長などを歴任。主に教育、文化、スポーツ行政に携わる。学生時代からの趣味の絵画制作で日曜画家を楽しむ。



子どもたちの心を育てる教育が大切

#### 松本 茂幸市長

まつもと しげゆき 1950年神埼生まれ。県立神埼高校を卒業後、神埼町役場に奉職。その後東洋大学法学部通信教育課程を卒業。2006年に神埼町・千代田町・脊振村(せぶりむら)が合併して神埼市が発生、その初代市長となる。現在4期目。



自分たちの足元の文化を深く理解する

#### 竹村 牧男学長

たけむら まさお 1948年東京生まれ。仏教学者。博士(文学)。東京大学大学院で仏教学を学び、文化庁、三重大学、筑波大学を経て、2002年より東洋大学文学部教授。09年に学長に就任。現在3期目。

高井 大倉邦彦は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生に「高井 祿郎理事長」がインタビュー。高井 大倉邦彦先生は、昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。



姉妹図書館提携調印式(2018年7月・神埼市)

#### 大倉邦彦 (おくら・くにひこ)

1882(明治15)年佐賀県神埼郡西郷村(神埼市)に生まれる。旧姓江原。旧制佐賀中学校から東亜同文書院へ進学。卒業後は大倉洋紙店に入社し、1918(大正7)年社長に就任。社員教育に努めるとともに、教育界・思想界の乱れを憂い、私財を投入して東京に富士見幼稚園や浄牧女子工芸学院を、郷里の佐賀に農村工業学院を開校した。心を豊かにする教育を推進するため、32(昭和7)年大倉精神文化研究所を創立した。各分野の研究者を集めて学術研究とその実践を進めるとともに、精神文化に関する内外の図書を収集し附属図書館も開設した。37(昭和12)年、東洋大学学長に就任(2期6年)。58(昭和33)年タゴール記念会の理事長にも就任した。71(昭和46)年没。

#### 大倉精神文化研究所の歩み

1926(大正15)年 大倉邦彦、精神文化事業の視察と図書館のための訪欧する。大倉精神文化研究所創立。同時に研究所の本館(現在の「大倉山記念館」)完成。精神文化に関する内外の図書を収集し附属図書館も開設。学生、教育者、社会人などを対象に精神文化教育に努める。

1936(昭和11)年 財団法人「文部科学省」所管の財団法人となる。「神典」を編纂し、修養会を開催し、旧制高等学校の併設も計画するなど活発な活動を展開したが、第二次世界大戦により、一時活動の中断を余儀なくされる。附属図書館が国立国会図書館の支店図書館となる(1960年まで)。

1971(昭和46)年 創立者大倉邦彦死去。敷地を横浜市に売却。同時に建物が大改修の上、「大倉山記念館」となる。

1984(昭和59)年 大倉山記念館、横浜市有形文化財に指定される。

1991(平成3)年 大倉山記念館、横浜市有形文化財に指定される。

2004(平成16)年 財に指定される。建設関係資料4546点が横浜市有形文化財に指定される。

2012(平成24)年 4月1日、公益財団法人となる。この年から図書館蔵書のネット検索を開始する。

2018(平成30)年 神埼市立図書館と姉妹図書館の提携を始める。

2022年 創立90周年を迎える。



大倉邦彦の業績をしのんで、話が弾む

### 自分の足元の文化を理解する

高井 実践を伴う知性主義である。知識を社会にどう生かすかという点が、高等教育でも重視されるようになりましてね。東日本大震災の際、横浜市立大学が学生たちにボランティア参加を促したとあって、帰ってきた彼らのスピリット(精神)が全然違っていた。

### 竹村 物質文明が繁栄する中、忘れ去られた心の問題をどうする

高井 実践を伴う知性主義である。知識を社会にどう生かすかという点が、高等教育でも重視されるようになりましてね。東日本大震災の際、横浜市立大学が学生たちにボランティア参加を促したとあって、帰ってきた彼らのスピリット(精神)が全然違っていた。

### 高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

### 高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

### 高井 大倉邦彦先生は昭和初期に女子教育も手掛けました。女性が生徒で自立すべきという考えから農村工業学院という学校をつくりました。幼児教育にも関心を持ち、当時としては珍しい幼稚園もつくった。現代でも通用する教育の実践者であったと考えます。

### 文化の拠点 大倉山記念館の魅力アップ

女優 五大 路子さん  
新横浜駅の近くで生まれ育った私にとって、自宅の向いの山の上にそび立つ大倉精神文化研究所の白亜の建物は、とてもなじみが深く遠足にも行きました。大倉山記念館と名前を変えて市民利用施設となってからは、何度か利用もさせていただいています。私たち港北区民の文化の拠点となった大倉山記念館ですが、その中にある、研究所附属図書館が大倉邦彦さんの生地佐賀県神埼市の市立図書館と提携することで、佐賀の文化も学べる拠点となることに大きな魅力を感じています。

### ふるさと神埼の豊かな文化発展

タレント 荒木 由美子さん  
私の出身地は神埼です。16歳のときに神埼を離れたのですが、今でも大切な故郷です。その神埼市の市立図書館と、横浜にある大倉精神文化研究所附属図書館とが姉妹図書館となったと聞き、とてもうれしく思います。神埼出身の大倉邦彦さんは大人になり故郷を離れ活躍されました。大倉さんは旧制神埼千代田町出身の下村湖人と旧制佐賀中学校からの友人で、生涯故郷を大切にされたと同じく、ふるさとに導かれて、神埼市の文化がますます発展することを願っています。



大倉精神文化研究所とは 「東西両洋の精神文化及び地域における歴史・文化に関する科学的研究及び普及活動を行い、国民の知性及び道徳の高揚を図ることにより、心豊かな国民生活の実現に資し、もって日本文化の振興及び世界の文化の進展に寄与する」ことを目的としている。

### 大倉精神文化研究所とは

「東西両洋の精神文化及び地域における歴史・文化に関する科学的研究及び普及活動を行い、国民の知性及び道徳の高揚を図ることにより、心豊かな国民生活の実現に資し、もって日本文化の振興及び世界の文化の進展に寄与する」ことを目的としている。

### 佐賀県神埼市

佐賀県東部に位置し、面積125.13km<sup>2</sup>、人口はおよそ3万2千人。隣接する神埼郡吉野ケ里町にまたがる吉野ケ里遺跡という大規模な弥生時代の環壕集落跡が発見されたことをはじめ、考古学的にも重要な遺跡が各所で多数出土しており、太古の時代から人々が生活を営んでいた地域であると推測されている。2006(平成18)年に神埼町・千代田町・脊振村が合併、市制施行した。日本ハンドボールリーグ所属のトヨタ紡織九州「レッドトルネード」の本拠地で、ハンドボールのまちとしても知られている。大倉邦彦をはじめ、伊東玄朴(蘭方医、東京大学医学部開祖の一人)、下村湖(教育者、「次郎物語」の作者)などを輩出した。

